

2014年10月28日

2014年度(平成27年3月期) 第2四半期決算説明会

 株式会社 日立物流HITACHI
Inspire the Next

本日の説明内容



1

.2014年度第2四半期決算について

【決算概要】グループ別、売上高・利益増減内訳、
偏差要因、海外地域別、月別営業利益

.2014年度計画について

【成長戦略と課題】第3四半期・第4四半期の取組み
【通期業績予想】
【国内・海外事業戦略(地域別)】
【Hitachi Smart Transformation Project】
【スマートロジスティクス】
【トピックス(国内・海外)】

.補足資料について

・財務指標、海外地域別業績(詳細版)、主要営業費用、
受注・立上状況、設備投資他

2014年度第2四半期決算の概要



2

(単位:億円、端数四捨五入、()内は利益率(%))

	2014年度				
	第2四半期累計			通 期	
	実 績	前年同期比 増減(%)	計画比 増減(%)	計 画	前年同期比 増減(%)
売 上 高	3,293	+12%	+3%	6,600	+6%
営業利益	(2.3) 76	-4%	-28%	(3.4) 225	+7%
経常利益	(2.5) 81	+11%	-21%	(3.4) 225	+13%
税引前利益	(2.3) 75	+3%	-26%	(3.1) 202	+30%
当期純利益	(0.9) 29	-3%	-44%	(1.5) 100	+84%
一株当たり配当	14円	+1円	—	28円	+2円

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

2014年度第2四半期決算の概要 (グループ別)



3

(単位:億円、端数四捨五入、< >内は構成比(%))、()内は前年差)

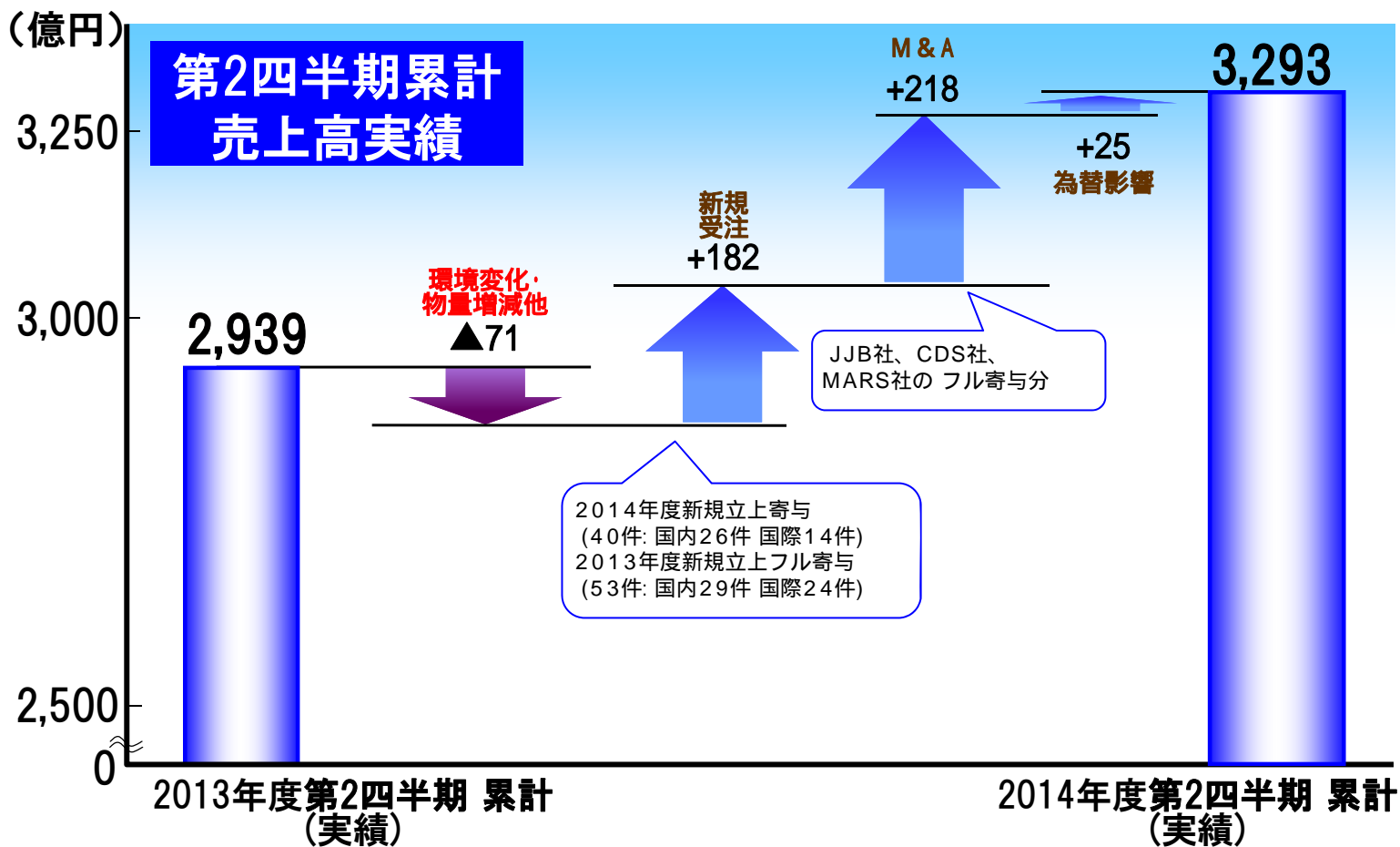
		売 上 高		営 業 利 益			
		第2四半期 累 計	前年同期比 増 減	第2四半期 累 計	前年同期比 増 減		
オーガニック ※1	国内物流	<60>	1,573	+4%	106.0	-18%	
	国際 物流	海外	<33>	867	+61%	22.2	+206%
		その他	<4>	95	-5%	-1.7	(+0.7)
	計	<36>	962	+50%	20.5	+327%	
	その他	<4>	105	+2%	13.8	+10%	
	(消去又は全社)	-	-	-	-67.5	(-0.9)	
計	<100>	2,640	+17%	72.8	-8%		
バンテック グループ	国内物流	<52>	377	-4%	5.6	-17%	
	国際 物流	海外	<20>	149	-5%	5.8	+105%
		VHF ※2	<28>	202	+2%	5.0	+54%
	計	<48>	351	-1%	10.7	+78%	
	計	<100>	728	-3%	16.4	+28%	
連結調整		-	-75	(-14)	-	-	
のれん償却等		-	-	-	-12.7	(-0.1)	
合 計	<100>	3,293	+12%	76.5	-4%		

※1 :バンテックグループを除く日立物流グループ

※2 :株式会社日立物流バンテックフォワーディングの略称

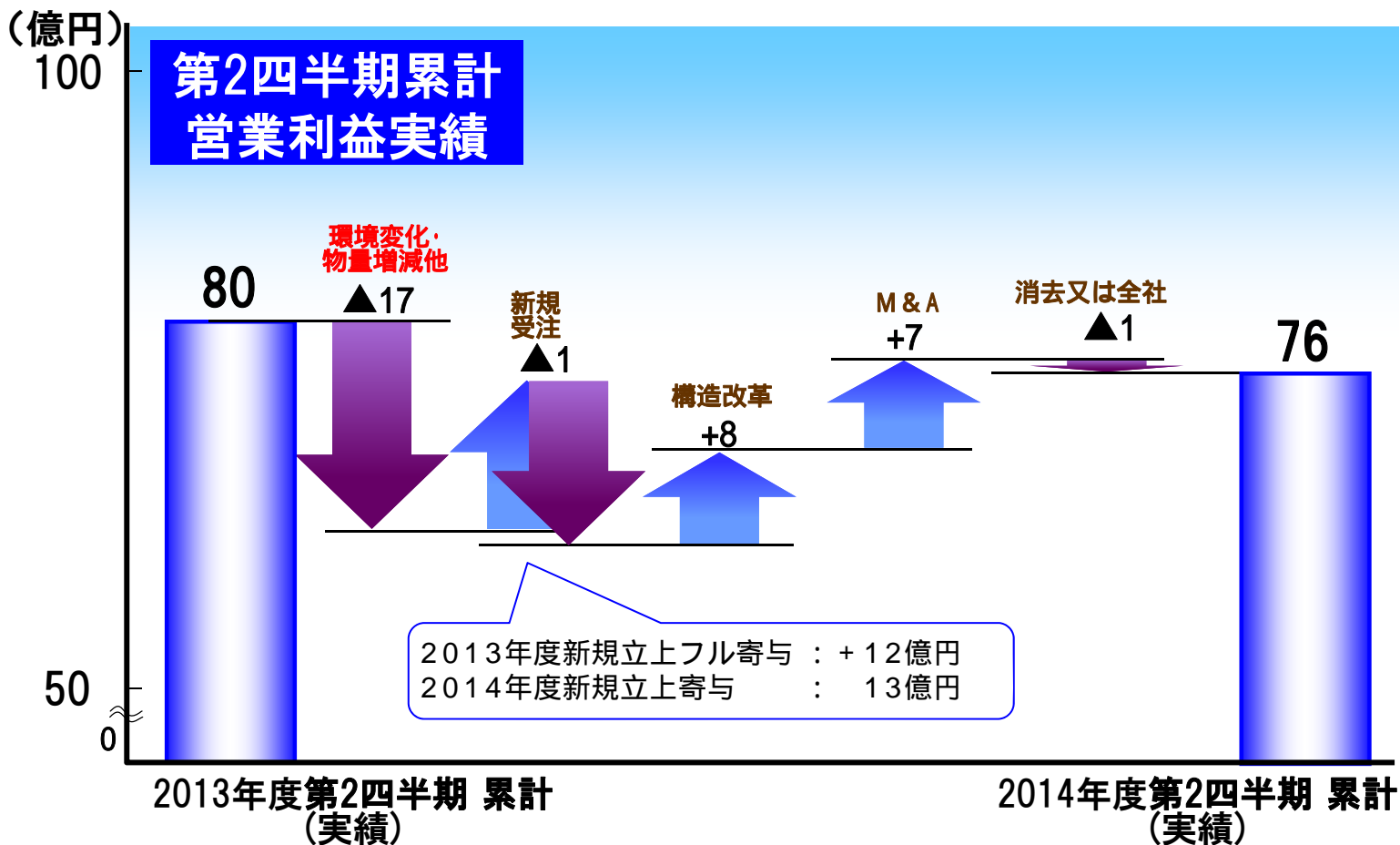
© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

2014年度第2四半期決算の概要(売上高増減内訳)



© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

2014年度第2四半期決算の概要(営業利益増減内訳)



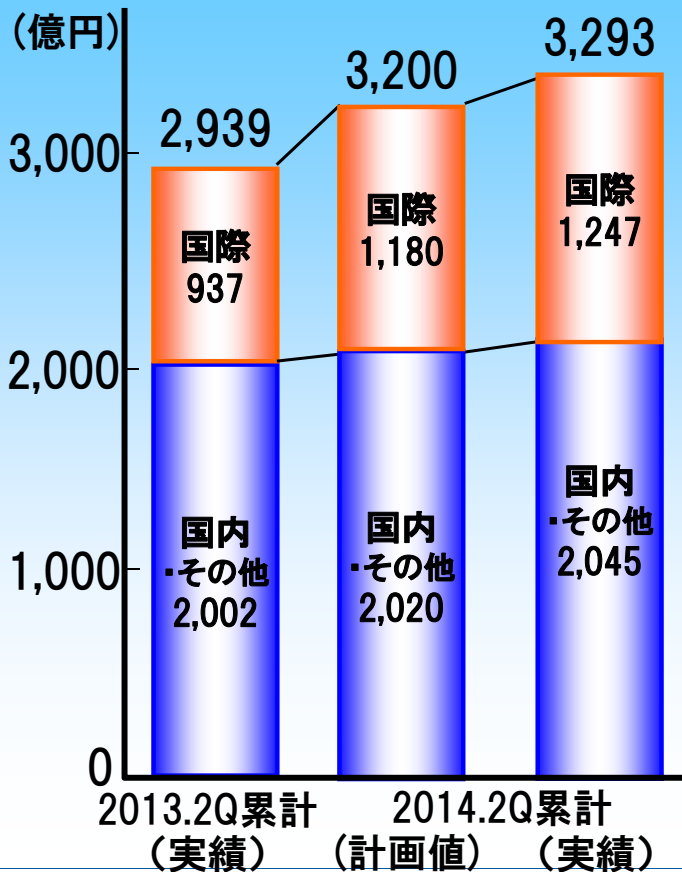
© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

2014年度第2四半期決算の概要(偏差要因)



売上高

計画比+93億円:反動減を国内・国際新規でカバー



1. 新規立上・本格稼働等 **+60億円**
2. 海外事業拡大(物量増・為替影響等) **+67億円**
3. 環境変化(反動減等) **▲35億円**

【大型案件立上 (2014年1月~9月)】※約10億円/年以上

2013年度4Q	2014年度1Q	2014年度2Q
・1月:精密機器 (関東)	・4月:高機能材料 (関西)	・7月:生活関連 (インドネシア)
・1月:自動車部品 (米国)	・4月:電子機器 (関東・東北)	・7月:小売(関東)
・3月:小売 (関東)	・4月:自動車関係 (欧州)	・8月:小売(中部)
	・5月:建設機械 (関東)	
	・6月:小売 (中部)	

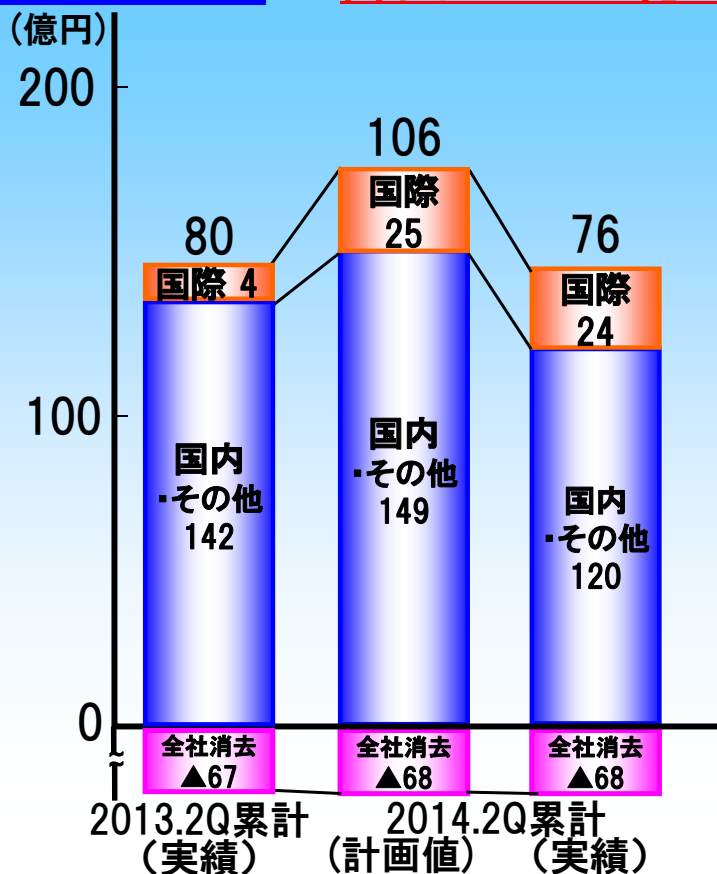
年商:180億円 規模(総庫腹:24万㎡)

2014年度第2四半期決算の概要(偏差要因)



営業利益

計画比▲30億円:主要因は立上げコスト増



<国内偏差要因: 29億円>

1. 立上コスト増 17億円

(計画差異:立上時期、作業要件、備車費他)

2. 反動減 7億円

3. 備車コスト増 6億円

4. 増加コスト收受 +4億円

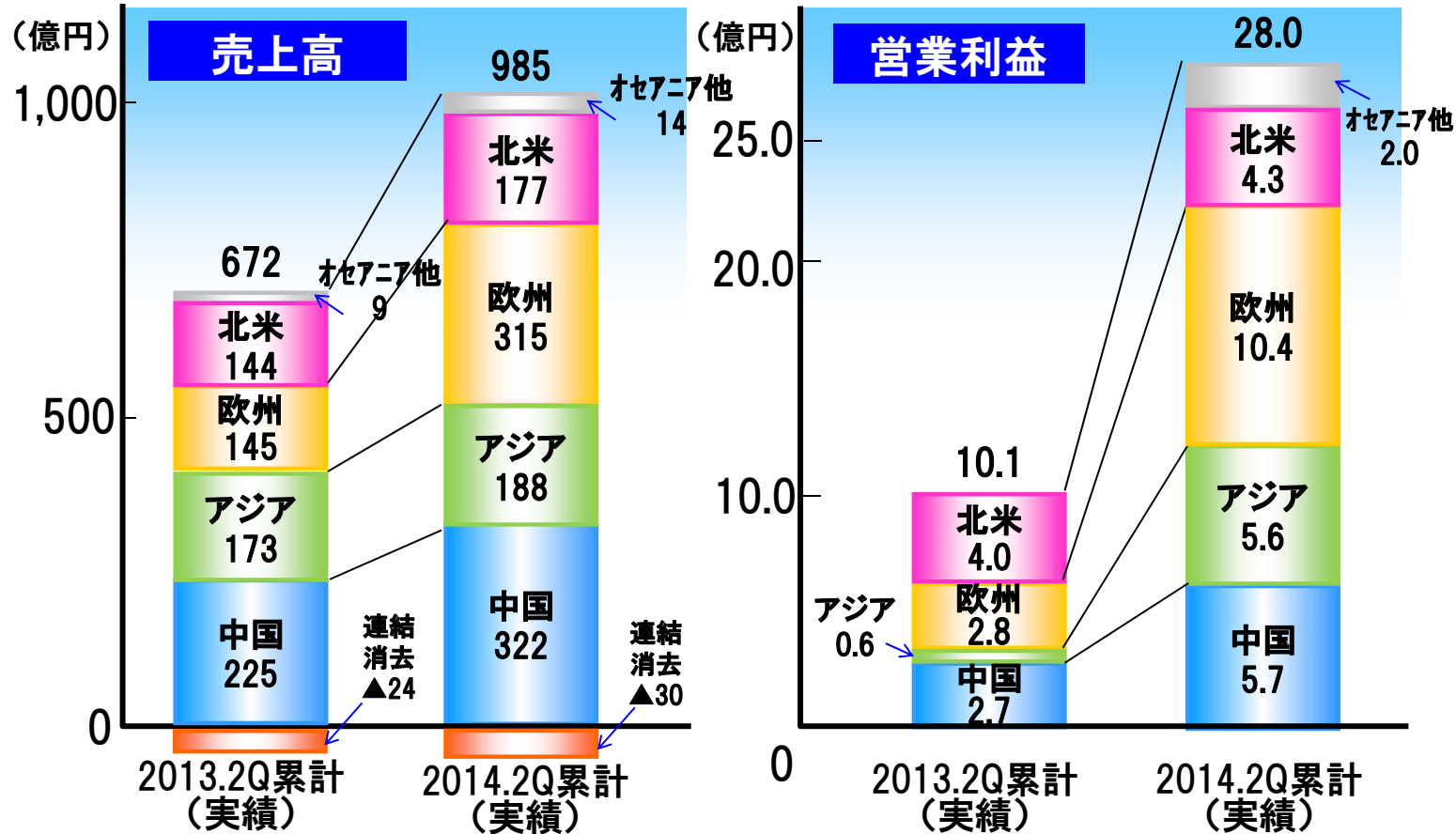
5. 天候不順影響 1億円

6. その他増減 2億円

(作業コスト(派遣費用他)増など)

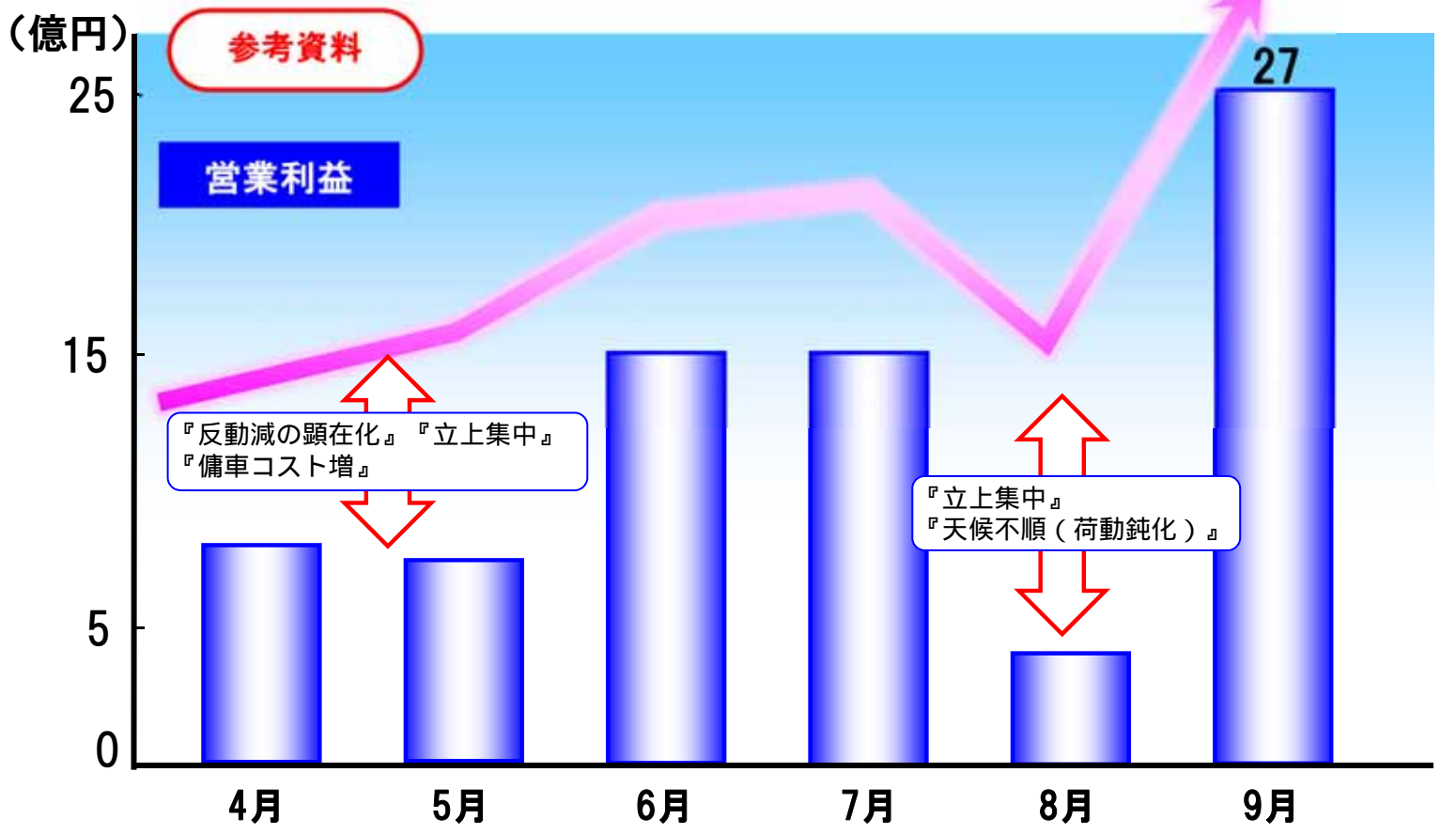
国際:種蒔から収穫へ(海外)
(前年同期比+20億円)

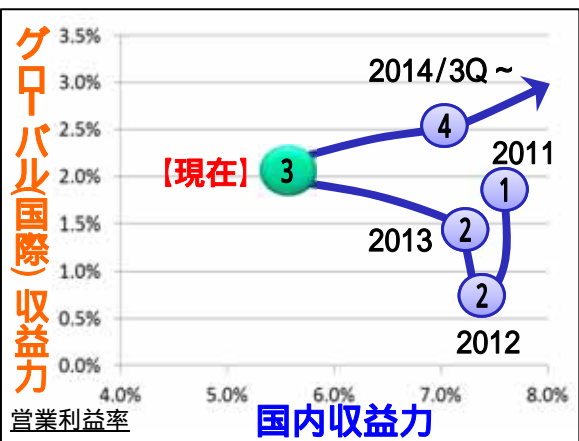
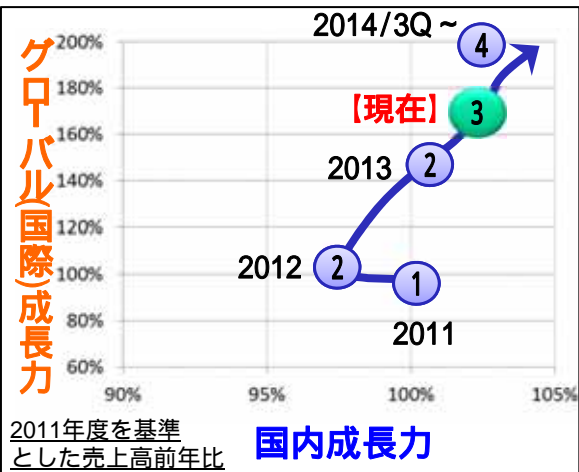
2014年度第2四半期決算の概要(海外地域別)



※上記の営業利益には、パンテックの無形固定資産償却は控除していない

2014年度第2四半期決算の概要(月別営業利益)





- 1 2011年度: 営業利益最高値(231億円)
オーガニック成長 + M&Aにより事業拡大
- 2 2012~2013年度(経営環境変化 ⇒ 構造改革)
ビジネスモデルの付加価値低下 新ビジネスモデル開発 ✓
M&A会社の成長鈍化 PMIの強化 ✓
国際事業の低成長 不採算事業解消 ✓
国内地域3PL事業の競争力低下
収益基盤のグループ会社へのシフト・再編 □
- 3 現在の事業環境・経営課題
大型案件集中、予算外立上げ、段階立上げによるコスト増
外注費高騰(燃料費・人件費)
輸送力不足、労働力不足 国内事業の収益力低下
- 4 新成長戦略展開
構造改革の推進・加速 事業のトランスフォーメーション
国内輸送力強化
グローバル収益力強化
スマートロジスティクスによる省人・省力・差異化

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.



1. 新規事業の安定軌道化

- * 立上げロスコストの撲滅
- * 適正な料金収受の推進

2. 構造改革の完遂

- * 国内トランスフォーメーションの推進
- * 国内輸送力強化
- * 組織・グループ会社の再編、海外拠点の統廃合

3. グローバル収益力強化

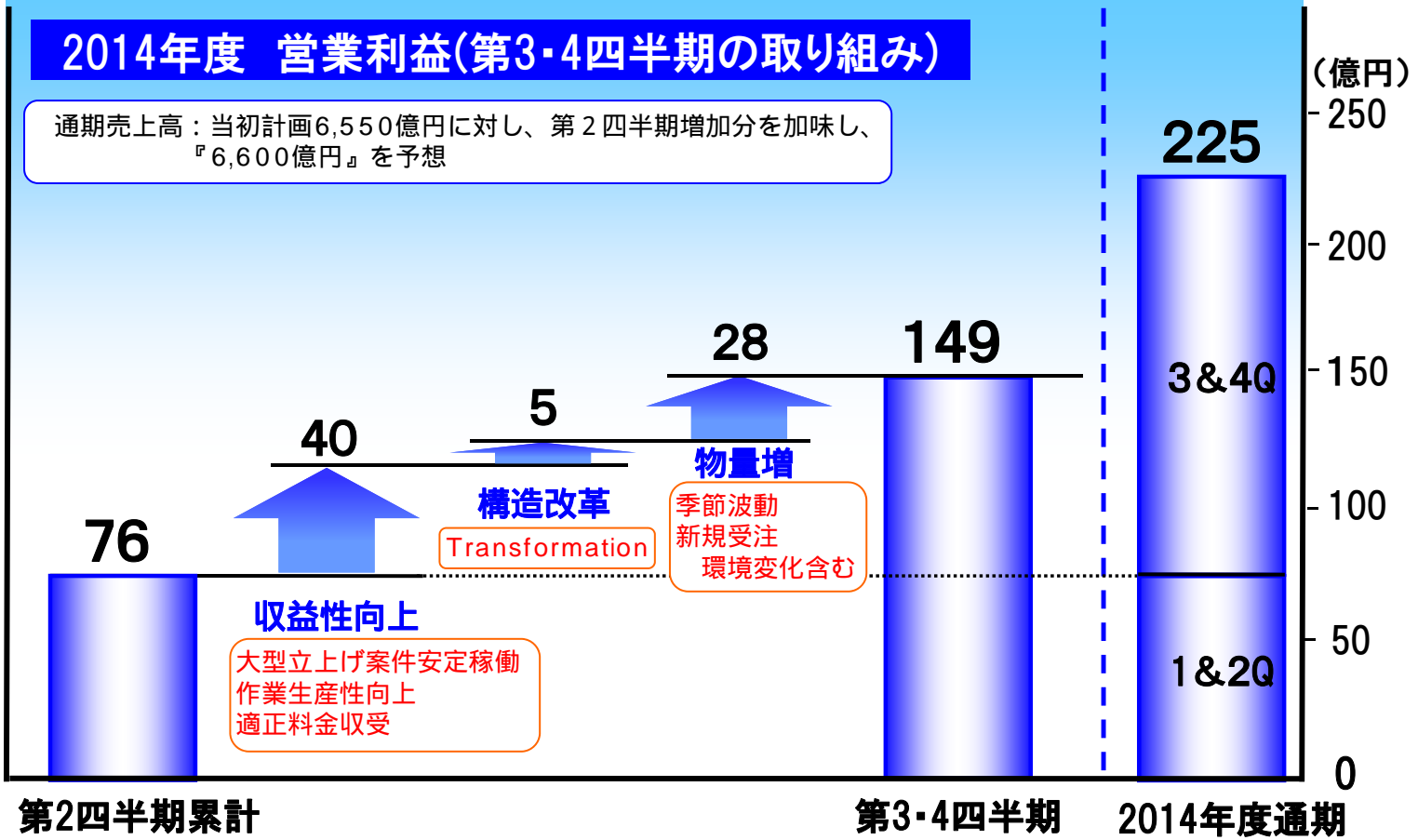
4. スマートロジスティクスの具現化加速

- * 新たなビジネスモデル・ツールの開発

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

2014年度 営業利益(第3・4四半期の取り組み)

通期売上高：当初計画6,550億円に対し、第2四半期増加分を加味し、『6,600億円』を予想



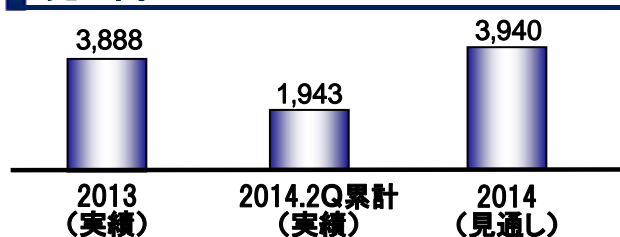
© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

国内事業拡大(事業収益基盤の再構築)

国内 顧客満足を高めるサービス・ビジネスモデルの創出と持続的成長



売上高 (単位：億円)



物流センター面積 (2014年9月末日現在)

461万㎡ 484万㎡ 493万㎡

主要取組項目

構造改革の推進・加速

- ・適正人員体制による運営
- ・グループ会社の組織再編 他

国内トランスフォーメーションの推進

- ・収益基盤をグループ会社へシフト
- ・リージョナル営業移管による強化
- ・地域密着型営業と事業の展開

輸送力・作業力強化

- ・地域有力物流会社との関係強化 (事業支援・提携推進)

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

フォワーディング事業強化への取組

2007

2010

2011

2012

2013

2014

国内 ■事業の地域移管
(機能軸⇒地域軸)

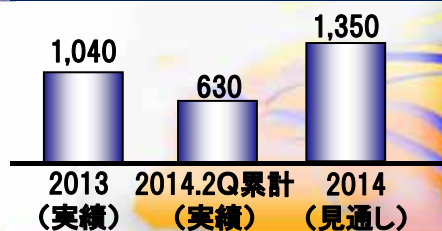
■バンテック(機能強化) ■日立物流バンテックフォワーディング(VHF)発足
(国内事業集約・機能強化)

海外 ■Flyjac(機能強化)

■JJB・CDS・MARS(機能強化)
■再編・統合

One Hitachi Transport Systemとしてのオフショア事業の強化・拡大

売上高 (単位: 億円) ※連結調整前



■取扱物量推移

	2013	2014.2Q累計	2014(見通し)
航空	17万トン	10万トン	21万トン
海上	24万TEU	16万TEU	32万TEU

フォワーディング戦略本部設置(2015年(予定))

■地域事業責任者による推進委員会設置 (2013年12月)

- 仕入競争力の強化
*グローバル仕入機能(海上)の設置(香港)
- システム統合に向けた準備
*全社B/LデータのOne Data Base化完了
- 新サービスの開発
*海上/航空:新規自家混載サービス開始
- One HTS ブランド(B/L統一他)に向けた準備
- フォワーディング戦略本部設置(香港)準備

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

グローバル事業の拡大(地域戦略:アジア・中国)

アジア

市場の成長とグローバルアカウントの域内展開加速への対応

売上高 (単位: 億円)



会社数
32

物流センター面積 (2014年9月末日現在)

60万㎡ 65万㎡ 70万㎡

主要取組項目

■域内3PL強化(コールドチェーン・クロスボーダー)

- ・タイ国内コンビニ向け配送[タイ](2014/3~)
- ・小売関連のDC運営[マレーシア](2014/9~)

■新規進出企業向け重量・機工作業

- ・工場設備輸送・搬入[ベトナム](2014/4~2015/10)

■海外法人の統合

- ・日立物流・バンテック(FWD)統合[タイ](2015/1(予定))

中国

日本型3PLの展開とフォワーディング事業の強化

売上高 (単位: 億円)



会社数
39

物流センター面積 (2014年9月末日現在)

57万㎡ 58万㎡ 58万㎡

主要取組項目

■現地家電メーカーの工場構内物流(2014/5~)

■自動車部品のDC運営(2014/8~)

■化粧品関連のDC運営(2015/1~)

■GWPF/PF計画(P17参照)

- ・GWPF(ゲートウェイプラットフォーム):輸出入XD/DC
- ・PF(プラットフォーム):共同在庫・配送DC

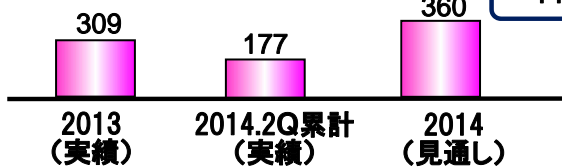
© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

北米 M&Aパートナーの成長とグループ各社の融合による事業拡大

売上高 (単位:億円)

会社数

14



物流センター面積 (2014年9月末日現在)

19万㎡ 25万㎡ 26万㎡

主要取組項目

自動車部品物流事業の強化・拡大

- ・シェアードミルクラン
- ・NAFTAパイプライン
- ・メキシコ国内事業

自家輸送力強化・拡充
と3PL・FWDとの融合

非自動車分野の開拓

- ・飲料・食料品・日用品顧客開拓

欧州 M&Aパートナーとの連携強化によるネットワーク・オペレーション体制の拡充

売上高 (単位:億円)

会社数

15



物流センター面積 (2014年9月末日現在)

40万㎡ 42万㎡ 42万㎡

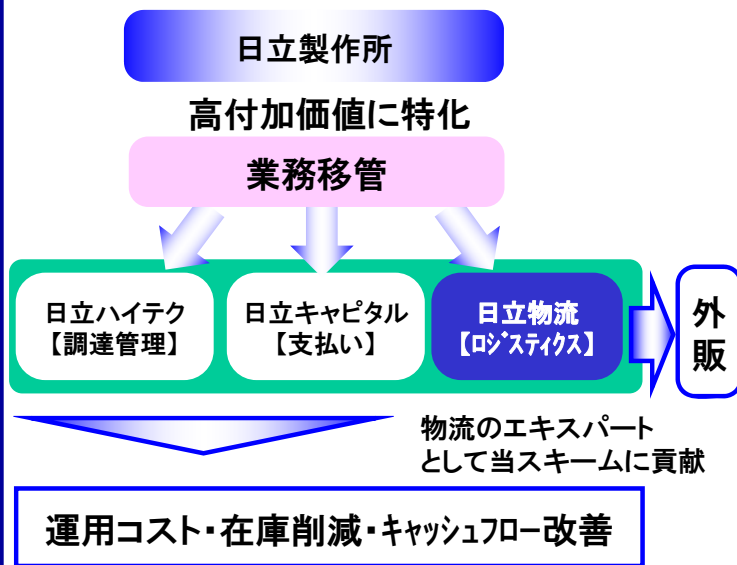
主要取組項目

■インターモーダル事業拡大と域内3PL強化

- ・ドイツ～トルコ自動車部品物流 (2014/4～)
- ・チルド食品のDC運営[チェコ](2014/5～段階稼働)
- ・電動工具の倉庫運営[オランダ] (2014/10～)

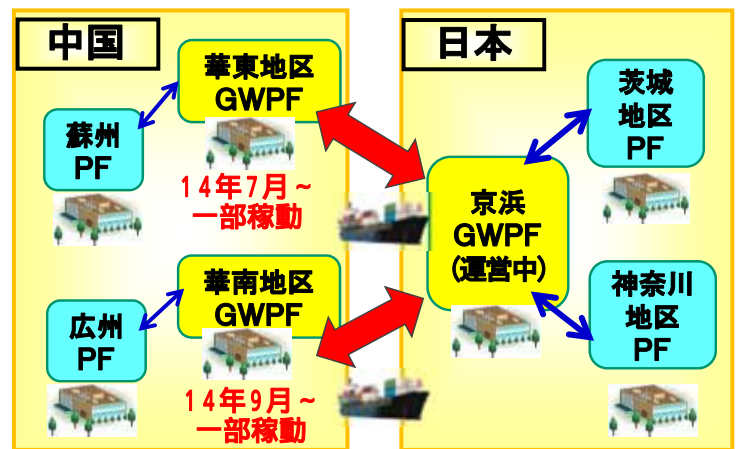
© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

日立グローバル調達スキーム



中国⇄日本GWPF/PF計画

- ・GWPF(ゲートウェイプラットフォーム): 輸出入XD/DC
- ・PF(プラットフォーム): 共同在庫・配送DC



グループ会社からの受託

日立国際電気

- 映像・無線システム(関東・東北)
- 稼働時期: 14年4月～

日立金属

- 高機能材料(関西)
- 稼働時期: 一部14年4月～

日立化成

- 化学品(国内広域)
- 稼働時期: 14年10月～

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

スマートウェアハウス 【日立製作所との共同研究】

■研究開発エリア 首都圏(南関東)の物流センターにて開発中 ~アパレル関連流通加工~

営業・管理サポート技術
倉庫改善分析
倉庫状況管理
コックピット技術
作業サポート技術
ピッキングロボット
自律搬送ロボット
保管(移動)棚
ピッキングステーション
自律搬送ロボット
日立製作所「Racrew」20台導入

ピッキングロボットイメージ

スケジュール

項目	2014/下	2015年度
システム構築	→	★稼働
倉庫内工事	→	
機能改善・改造		→

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

スマートロジスティクスコンフィギュレータ (提案・見積り・設計)

統合プラットフォーム

- 物量分析
 - 倉庫費算出
 - 作業費算出
 - 配送費算出
- 生産性シミュレーション
- レイアウト立案
- 収益リスク評価

<14上完成>

①基本機能
・既存業務の半自動化
・再利用の容易化

<14下開発>

②高度化機能
・生産性の精度向上
・コスト削減施策導出
・立上リスク低減

作業物量 → 作業・保管・配送物量算出ツール → 配送物量

作業チャート立案ツール
配送計画立案ツール

開発・具現化計画と実績【日立製作所と連携】

実施済 実施中、予定

項目	13年度	14年度	15年度
スマートウェアハウス 開発		化粧品PFセンター/スポーツDC(首都圏)	国内外事業所へ展開
スマート物流コックピット 開発		化粧品PFセンター/スポーツDC(首都圏)	国内外事業所へ展開
モデルシステム構築(実用化/事業化)		既存・新規物流センター	国内外主要事業所へ展開
スマートロジスティクスコンフィギュレータ 開発		新規物流センター	国内外事業所へ展開

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

海外グループ会社再編

- シンガポール法人合併
 - ・Hitachi Transport System(Asia)Pte.Ltd.
 - ・VANTEC WORLD TRANSPORT (S) PTE. LTD.
- 2014年4月 (グループシナジー創出)

日立物流(中国)発足

- 大航国際貨運有限公司を日立物流(中国)有限公司に社名変更
- 2014年4月 (事業体制強化)

昆山物流センター



- 中国・昆山市
- 2014年5月稼働
- 自動車部品等

4月

5月

6月

7月

8月

9月

川越物流センター



- 埼玉県川越市
- 2014年3月稼働
- 食料品等

つくば物流センター



- 茨城県つくば市
- 2014年4月稼働
- 建機保守部品

富山Ⅳ期物流センター



- 富山県中新川郡
- 2014年6月稼働
- 医療品等

川口XD



- 埼玉県川口市
- 2014年7月稼働
- 食料品等

掛川物流センター



- 静岡県掛川市
- 2014年8月稼働
- ドラッグストア関連

国内グループ会社再編(合併)

- 東日本地区:2014年7月
 - ・東日本日立物流サービス
 - ・日立物流フロンティア
- 首都圏地区:2014年10月
 - ・首都圏日立物流サービス
 - ・日立物流オリエントロジ

全国トラックドライバー・コンテスト

- 2014年10月
- 11部門:優勝 (内閣総理大臣賞)
- 4部門:優勝(4位まで独占)
- 当社グループから7名の選手が上位入賞

日立化成の物流業務受託

- 2014年10月開始

国内営業本部再編

- 西日本統括本部新設
- 2014年10月

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

2014年10月28日

2014年度(平成27年3月期) 第2四半期決算説明会

<補足資料>

		2013年度第2四半期	2014年度第2四半期
総資産	(億円)	3,895	4,326
自己資本 (〇は自己資本比率(%))	(億円)	42.4 1,650	39.1 1,691
1株当たり純資産	(円)	1,479.47	1,515.72
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	26.46	25.64
1株当たり配当(年間)	(円)	26	28
自己資本利益率(ROE) <年換算>	(%)	(3.6)*	(3.4)
総資産利益率(ROA) <年換算>	(%)	(1.5)*	(1.3)
株価純資産倍率(PBR)	(倍)	0.92	0.93
株価(終値)	(円)	('13.9.30) 1,366	('14.9.30) 1,416

※ 計算の分母に用いる自己資本、総資産は、前期末数値ではなく、改正退職給付会計基準を早期適用したことによる影響額を反映した期首自己資本、期首総資産を用いております。

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

(単位:億円、端数四捨五入)

項目	売上高		営業利益		
	第2四半期 累計	前年同期比 増減	第2四半期 累計	前年同期比 増減	
海外	北米	177	+33	4.3	+0.4
	欧州	315	+170	10.4	+7.6
	中国	322	+97	5.7	+3.0
	アジア(中国除く)	188	+15	5.6	+5.0
	オセアニア他	14	+6	1.5	+1.5
	連結消去等	-30	-6	0.5	+0.4
	計	985	+314	28.0	+17.9
	オーガニック	867	+327	22.2	+14.9
	バンテック	149	-7	5.8	+3.0
	連結消去	-30	-6	-	-

※上記は、国際物流の現地法人の売上高・営業利益

※上記の営業利益には、バンテックの無形固定資産償却は控除していない

※CDS社は、中国以外の地域についても中国に含む ※トルコは欧州に含む

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

(単位:百万円、()内は構成比(%))

項目	2013年度		2014年度			
	第2四半期累計		第2四半期累計		前年同期比	
					比率	増減
外注費	(49.2)	144,556	(51.8)	170,471	118%	25,915
人件費	(25.5)	74,979	(24.0)	78,998	105%	4,019
賃借料	(7.3)	21,329	(7.0)	23,018	108%	1,689
償却費	(2.6)	7,720	(2.7)	8,961	116%	1,241

<参考> 新規連結化された海外3社(*)を除いた構成比推移【概算値】

[外注費比率] 2013.2Q累計:48.1% ⇒ 2014.2Q累計: 49.2%

[人件費比率] 2013.2Q累計:26.0% ⇒ 2014.2Q累計: 25.6%

* 新規連結化 海外3社(JJB社・CDS社・MARS社):フォワーディング事業主体

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

(単位:件)

項目		2012年度	2013年度	2014年度
		第2四半期累計	第2四半期累計	第2四半期累計
立上	国内	22	29	26
	国際	14	24	14
	計	36	53	40
受注	国内	24	28	18
	国際	20	30	16
	計	44	58	34

※上記の件数は、1,000万円/月以上の大口案件を表示

<参考> 前年同期比(金額ベース) 【概算値】

[国内立上] 2014.2Q累計:前年同期比 約170%

[国内受注] 2014.2Q累計:前年同期比 約180%

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

設備投資

(単位:百万円)

項目	2013年度	2013年度	2014年度	2014年度(計画)
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期
自家投資額 1	10,283	21,622	7,263	16,933
(参考)賃借 2	12,915	31,087	20,785	39,118
(参考)減価償却費	7,720	16,579	8,961	18,700

※1.固定資産計上ベース ※2.契約年数換算値

物流センター面積

(単位:万㎡)

項目	2013年度	2013年度末	2014年度	2014年度末(計画)
	第2四半期末	通期	第2四半期末	通期
国内	436	461	484	493
海外	158	176	190	196
合計	594	637	674	689

期末人員

(単位:人)

項目	2013年度	2013年度末	2014年度	2014年度末(計画)
	第2四半期末	通期	第2四半期末	通期
連結人員	24,383	24,425	24,802	25,512
グループ総人員	48,023	48,843	50,373	51,532